

**【感染症非専門医・薬剤師のための感染症コンサルテーション】
訂正のお知らせ**

2016年9月8日

ご購入いただきました【感染症非専門医・薬剤師のための感染症コンサルテーション】(2014年6月20日発行第1刷、第2刷、第3刷)におきまして、以下の誤りがございました。
ここに訂正させていただきますとともに、深くお詫び申し上げます。

正誤表

頁数	訂正箇所	誤	正
20	表4 タゾバクタム・ピペラシリン (ゾシン)の1回投与量	(1回)4g	(1回)4.5g

2016年7月7日

ご購入いただきました【感染症非専門医・薬剤師のための感染症コンサルテーション】(2014年6月20日発行第1刷、第2刷、第3刷)におきまして、以下の誤りがございました。
ここに訂正させていただきますとともに、深くお詫び申し上げます。

正誤表

頁数	訂正箇所	誤	正
20	表5 セフェピム(マキシピーム)の 1回投与量と投与間隔	(1回)2g 6時間ごとと静注	(1回)1g 8時間ごとと静注
151	表4 セフェピム(マキシピーム)の 1回投与量	(1回)2g 8時間ごとと静注	(1回)1g 8時間ごとと静注

2014年7月24日

ご購入いただきました【感染症非専門医・薬剤師のための感染症コンサルテーション】(2014年6月20日発行第1刷)におきまして、以下の誤りがございました。
ここに訂正させていただきますとともに、深くお詫び申し上げます。

P75 表4

「壊死性筋膜炎で、起因菌判明後（感受性結果に応じて狭域の抗菌薬に変更する）」

誤		
表4 壊死性筋膜炎で、起因菌判明後（感受性結果に応じて狭域の抗菌薬に変更する）		
薬剤名	投与量（1回）	投与間隔
A群β溶連菌の場合（G群、C群含む） ペニシリンG（ペニシリンGカリウム®）	1,200万単位	12時間持続静注 として1日2回
または アンピシリン（ピクシリン®） + クリンダマイシン（ダラシン®S）	2g 600mg	4時間ごとと静注 8時間ごとと静注
ビブリオ・バルニフィカス（海水との接触）の場合 セフトアジゾム（モダシン®） + ミノサイクリン（ミノマイシン®）	1g 100mg	6時間ごとと静注 12時間ごとと静注
アエロモナス・ハイドロフィリア（淡水との接触） の場合 <i>Enterococcus faecalis</i> の場合はアンピシリン <i>Enterococcus faecium</i> の場合はバンコマイシン シプロフロキサシン（シプロキサ®）	300mg	12時間ごとと静注
正		
表4 壊死性筋膜炎で、起因菌判明後（感受性結果に応じて狭域の抗菌薬に変更する）		
薬剤名	投与量（1回）	投与間隔
A群β溶連菌の場合（G群、C群含む） ペニシリンG（ペニシリンGカリウム®）	1,200万単位	12時間持続静注 として1日2回
または アンピシリン（ピクシリン®） + クリンダマイシン（ダラシン®S）	2g 600mg	4時間ごとと静注 8時間ごとと静注
ビブリオ・バルニフィカス（海水との接触）の場合 セフトアジゾム（モダシン®） + ミノサイクリン（ミノマイシン®）	1g 100mg	6時間ごとと静注 12時間ごとと静注
アエロモナス・ハイドロフィリア（淡水との接触） の場合 シプロフロキサシン（シプロキサ®）	300mg	12時間ごとと静注